

CATALOGACIÓN: Musha-e. Samurái, nº 21.

Signatura: J-A/22

Nombre del artista: NAGAI NAOMASA

Título: Libro de indumentaria ceremonial

Firma: Nagai Naomasa

Fecha (en calendario occidental y japonés): 1829. Bunsei 12

Formato: Orihon. Pintado

J-A

22

J-A

22





紫ノ組懸緒ハ鳥羽院蹴鞠御好故
建久ノ比ヨリ始テ出来ル事ナリ

衣冠前

四位以上黒本名塚

冠ノカケヲ紙ヨリ也
紫ノ組緒用ニ本式ニ非ス
勅許ニテ用之
飛鳥井家ヨリ免許也

當時奴袴袍ハカリ着スルナ
衣冠ト云草又ハ衣ヲ着スルナ
カセ子ト云

四草ヲ着スルナ草ノ衣冠ト云
懐中ニ帖紙アリ



野劔 俗ニ衛府ノ太刀ト云
毛枝取トモ手鞘太刀トモ云

檜扇

襦ト云

衣冠ノ時ハ蝙蝠モ極熱ノ時ハ子細ナシ
老者ハ扇冬ノ扇ヲ持テ近頃ハ百及又ニナ
イワス蝙蝠ヲ持テ人ナリ例トセス年若キ
公卿ハ炎天ノ比蝙蝠冬ハ枚月泥薄敷毛
繪カキタルヲ持ナリ

奴袴

奴袴ノ下ニ下袴式腰次ヲ
着ス外ニ見ヘス

襦ナハク



同後



輪無^シ響^ニ唐草^ハ
通用ノ文ナリ
此文ハシウワ唐草

アテコシアリ

腰帶ト云
衣冠ニハ石帯ヲ不用セ

ハコエヲ不立



束帯

蒔繪劔

柄頭ニ番タル緒ヲ目貫具緒ト云
緒ノ先ノ金物ヲ西路ト云

裾下籠

今ハ別ニ切ハナシテ用ユ

今世纓ヲ末ト巾子ノ末ノ上ニ文ヲトテ付止也
蟬羽異 中ニ菱付タルカ
古ノ有文也

文武天皇大宝元年甲子ノ朔制
皆用深冠

冠四位以上有文
冠ノカケ緒
紙ヨリ也

白小袖ツエリ

垂櫻

罩
祖
下籠

四位以上ノ袍黒

正曆比並ハイニ紫系ニテ
深ク由カ四位袍ニ紫系ヲ多ク
入テ深クハ三位ノ袍似タルヘシ

將軍家此文ヲ用ヒタラトカヤ

是ニヨリ四位ノ人モ三位ノ袍ヲ
用ユ

懐中ニ帖紙アリ

笏太笏也

蓬来レル始ナリ

丁子唐草ハ

西園寺家用モア足利將軍家ニテハ輪ナシ任槐ノ後ハ竹桐ナリ
當時將軍家ニテハ松竹葵ノ御紋ナリ

赤キハ單也

平緒ノタリ

襦ト云

表袴
文筆霰
禁色ナリ

石タミニクワ

襪



同後

後六竹相ナリ當時將軍家ニテハ
松竹葵ノ御紋也



表袴ノ下ニ
赤ノ大口ヲ着用ス
外ニ見入ス

平緒

右帯

上子トスミテサシミ

丈木葉

思ひまや我身

志つめゝゝの帯枕

上子よきけて人

らんとい

右帯ノ
上子

ハコエナ立ル
是子格ナ立ルト云

裾ノ事依官位有長短延久二年ノ旨宜
建曆三年ノ新制實喜三年ノ制皆等子有之
依代寸法不同



五位東帶

今世淺赤ナキ深緋ナリ
苗根深ナリアカ子今世知
カクキ故ニ蘇芳深ナ用
紅帯ハ甚以非ナリ

武家五位着之

冠五位以下ハ無之

雲鏤
カケサ鉄ヨリ

袍色淺緋

笏木

薙繪太刀

此ワナシト云本名ワナカヘト云
ワナシハ別ニヤリ

平緒ノタリ

表袴

裾

コレハ足袋
ナリ襪ナ
ヘシ武家
足袋ヲ用
ユ



同後



今世大帷ト号ヲ單ト
下重ノ襟ヲ付テ袖ニ
單ノ袖計合テ用テ頗
略ナリ

單

今世大帷ト号
和式ハ衣

石帯ノ
上子

石帯

五位衣冠

武家五位着之

五位トイハ侍従ハ緯白ヲ用木儀平絹ナリ

糸卷之太刀野劔ヲ可用也

木瓦罽

袍色淺緋

白小袖

五位ノ侍従ハ白糸ノ
細懸緒ナリ

カケテ紙ヨリ

是ハ
非ナリ

奴袴ノ
布ノ和訓ナリ

尋常衣冠又直垂將衣之時
是ヲ着ヌ色淺緋履手躰官對敵
スヘキ也
禁色ヲ聽名人ハ織物不然人ハ志々羅ノ平絹裏何レモ平絹色同表

檜扇

足袋ヲ
不履



同後



白小袖

是公襟也

隨身



カケテ
儀ヨリ

細纒
六位以下
武官用之

オヒカケ

是ハ
非ナリ

國脈ノ袍

白小袖

細纒ハ鯨也繩
纏ノカクキ也武官ノ
軍六位以下是ヲ用ユ
六位藏人式是用ル將監
左右衛門尉ノ兼ル人ノ也
踏冠ト云ハ細纒ノコトナリ

壹胡分袂

野
尾
鞆

赤大口

平緒ノ
タビナリ

露

目貫
緒

表袴

是ハ
宣忠
本袴也



将衣



風折
ロケチハ家組
本式銀ヨリ

紫

端幅

袖くり

腰帯ト云

奴袴

武家三ッハ
狩衣ノ時小サ刀ハ
佩副止又糸巻太刀佩副止事モ右
直番ノ所ニ記ス

武家三ッハ
袴ハカス
スアミ也

直垂

武家侍従以上着之
紫ト紅ハ可憚之

左折
凡折

カケ斗本式紙ヨリ江戸にて
侍従以上ハ紫ノクミカケ
白ナリ

紫

白ナリ

白小袖

蝙蝠

近手腰組ノ結余リナ
垂ト下ルハ誤也

小サカ作ヤウ古ト異ナリ武家出仕ニハ打刀ヲ佩副ル
儀奉ニハ系卷ノ太刀ヲ佩副ル也系卷太刀ハサヤマキノ太刀
ト云ニ誤ナリ



火致

布直垂也俗天文ト云
武家土佐ノ諸大吏用之

西三條將家系抄曰直垂ハ諸大吏着之
是ヲ俗火致ト云大ナル致ヤ付タレヨリテカ

直垂ト裁縫聊替之
素衣禪トノ替目胸緒草ト打組ノ替リ也

左折
カケテ紙ヨリ



白ナリ
白ナリ

紅年腰細ノ緒アメリナ長ク
垂ル銀ナリ
武家古毎夏ニ取之

白ナリ

布衣

布色不定

近來平頂或ハ鎌骨ト用ルコト
 非古實ハ委ニ布衣若クニシルス

古ハ布衣ト書テカリキヌトヨム今ハ織文有テ袴袴ト云無文
 ナルヲホイト云
 武家無位無友着之素襖ノ上ナリ服ヲ以テ士ノ上下ヲ別ツ之



左折
 風折
 カケナ
 絨ヨリ

カケナ白

ノシメ

文アルハ別ナリ

小サカ作りヤウ古ト異ナリ
 折刀佩副ル

蝙蝠

腰帶アリ
 アラフミ云

収袴
 アキキ無文

六位収袴ヲ着スルハ
 法外ノ事ナリ
 禰袴スルヘシ

武家ニテハ
 襪ハカス
 スアキナリ

素襖 又素袍

武家無位無及着之布衣下ナリ

侍舊帽子ナリ

折舊帽子

コケチ組紐也
額風口に入レハ誤ナリ

折品々有甚多ノ
折アリ

必ナル草ヲ用ユ

ヒモ草ムスフ
帶エ獲ルハ
アヤマリ也

又アノ時
武家テハ端端不用
用ヒテモ子細ナシ

小サ刀モト異ナリ

折刀佩副ル



此橫卷元來他家之藏版也官所以禁忌毀板者
黑者伊勢平藏貞丈朱者大塚市郎右衛門嘉樹青者
松岡清助辰方旁記上云

文政壬戌子年二月

永井真正



S. XIII

C.V.C.
5643

308

